

内容紹介

楽器を改良・開発するためには「良い楽器とは何か」を科学的に追究しなければなりません。楽器からどのような原理で音が出て、それがなぜ人々を感動させるのか、今以上に「良い楽器」を作るためにはどうすれば良いかを、厳しく冷静な目で分析していきます。本書は、楽器メーカーで長く研究開発に携わってきた著者が紹介するエピソードを通して「良い楽器とは何か」を考えるものです。

株式会社ITSC
静岡学術出版
理工学ブックス
10000
2010/07/06



ISBN978-4-903859-03-3
C0226 ¥1000E

定価：本体1,000円(税別)
静岡学術出版



9784903859033



1920226010005

楽器の研究 よもやま話 ～温故知新のこころ～

永井洋平 村上和男 共著
ミクス研究所 監修

静岡学術出版
理工学ブックス
100001

楽器の研究
の

よもやま話

“良い楽器”

監修
ミクス研究所

永井洋平

村上和男

共著

ストラディバリ
は本当に“名器”なのか？

スタインウェイの
“秘密”とは？

そもそも
“良い楽器”とは何か？

著者紹介

永井 洋平 (ながい ようへい)

- 1938. 東京都に生まれる
- 1960. 日本楽器製造（現ヤマハ）入社
管楽器、ピアノ、電子楽器、弦楽器、
打楽器の研究に従事
楽器研究所所長
- 1998. 音響コンサルタント
ソシエテ・ナガイ開設
日仏文化交流の活動
- 2001. 楽器創造館館長就任

村上 和男 (むらかみ かずお)

- 1945. 愛知県に生まれる
- 1968. 日本楽器製造（現ヤマハ）入社
管楽器、打楽器、ピアノの音響研究と
電気ピアノ、自動ピアノ、バイオリン
などの開発を担当
- 2001. ミクス研究所創設
ウェブ上で楽器創造館を主催
- 2008. 博士（工学）